

空き町家の活用による 「にぎわい再生」フォーラム

～町並み景観の保全と地域活性化のために～

県内初の重要伝統的建造物群保存地区に選定された新町通りや永原町通りなどに代表される旧八幡城下町をはじめ、市内には伝統的な「町家」と呼ばれる家屋が多く残されています。これらが魅力的な町並み景観の要素となって、多くの観光客が訪れるようになりました。しかし、空き町家は増えつつあり、このまま放置すれば、地域活力の低下とともに美しい町並みが損なわれる心配があります。

空き町家を店舗や住居として再生・活用し、まち本来の賑わいを取り戻すためにはどうしていけば良いのか、ともに考えましょう。

場 所

八幡公民館 多目的室

滋賀県近江八幡市宇津呂町73-1 TEL: 0748-32-2300

日 時

3月8日(土) 13:30~16:30
参加費無料 定員100名

●プログラム

12:45~ 受付・開場
13:30 開会

①話題提供

「京町家を活かした生活・文化体験」

株式会社 庵 代表取締役 梶浦秀樹さん

②調査報告

「増える空き町家の現状と町家活用の可能性」

大阪大学大学院 福田知弘准教授・坂井健一さん

③パネルディスカッション

「空き町家の活用による地域のにぎわい再生」

コーディネーター 大阪大学大学院 福田知弘准教授

パネリスト 白井貞夫さん(町なみ保存委員会会長)

中守信子さん(市内空き町家所有者)

村西耕爾さん(ハートランド推進財団NPOコーディネーター)

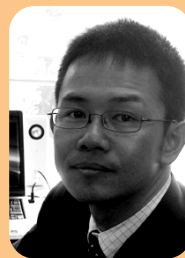
16:30 閉会



梶浦秀樹氏

2003年、日本文化研究家のAlex Kerr氏らとともに(株)庵【いおり】を設立。京都の古い町家を借上げ、快適で魅力的な住居として改装を加え、「暮らすように旅をする京町家ステイ」と、日本伝統文化研修「オリジン・アート・プログラム」等を実施。また、日本各地の町家・古民家などの眠っている観光資産を再生・活用した新しい形の観光まちづくりをコンサルティングしている。

<http://www.kyoto-machiya.com/>



福田知弘氏

研究分野は環境デザインとコミュニケーション技術。小舟木エコ村、八幡酒蔵工房、高松4町パティオ等のデザインプロジェクトに関わる。昨年9月の八幡堀まつりでは、尾賀邸で近江八幡のまちなかと町家を考える展示企画。

<http://www.interlab.jp/fukudablog/>

●交通案内

JR近江八幡駅から徒歩約25分。駅からバスをご利用の場合は、近江鉄道バス「長命寺」行6分、「八商前」下車。

※お車の場合の駐車場について八幡小学校または、勤労青少年ホームをご利用ください。

●お問い合わせ・お申し込み

住所、氏名、年齢、電話番号、職業、E-mailアドレスを記入の上、E-mail又はFAXにてお申し込みください。

近江八幡市協働政策部地域政策課 〒523-8501 滋賀県近江八幡市桜宮町236 担当:嵐

TEL:0748(36)5527・FAX:0748(32)2695

E-mail:010202@city.omihachiman.lg.jp

